

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	担い手育成・支援対策事業	NO.	126
担当所属	農林振興課	関連所属	農業委員会

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	1 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農業関係機関や集落等と調整し、農地中間管理事業の活用による農地集積の促進や「人・農地プラン」の作成を支援し、地域・集落単位による経営体や認定農業者などの担い手を育成します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	担い手不足の解消 農地の利用集積の促進による経営体の育成
対象 (誰・何を対象として)	認定農業者等大規模経営農家 集落営農組織
手段 (どのようなやり方で)	人・農地プランの作成推進 法人化及び集落営農の推進 農地中間管理事業等による農地利用集積の促進
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	認定農業者など担い手の育成とともに、農地の利用集積の促進や経営規模の拡大を図り、効率の良い生産体制を構築する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	認定農業者の認定・更新 人・農地プラン作成推進 農地利用集積の促進 耕作放棄地対策	認定農業者の認定・更新 人・農地プラン作成推進 農地利用集積の促進 耕作放棄地対策	認定農業者の認定・更新 人・農地プラン作成推進 農地利用集積の促進 耕作放棄地対策

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 認定農業者数	人	159.0	161.0	163.0	165.0	165.0
	② 人・農地プラン作成件数	件	6 (累計)	7.0	7.0	8.0	8.0
	③						
活動指標	① 人・農地プラン作成に係る集落説明会等回数	件	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度 合計
事業費	11,979	6,901	6,901	6,901	20,703
一般財源	2,571	2,544	2,544	2,544	7,632
特定財源	9,408	4,357	4,357	4,357	13,071

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	新規就農者支援対策事業	NO.	127
担当所属	農林振興課	関連所属	農業委員会

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	1 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	新規就農者が早期に安定した農業経営が行えるよう、県やJAなど農業関係機関と連携し、栽培技術の習得、農地の確保、機械・施設導入の経費等について支援します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農業従事者の高齢化による後継者不足の解消を図る。 新規就農者の早期の営農安定化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	農業後継者等新規就農者及び就農希望者
手段 (どのようなやり方で)	市内外の就農を検討している方に、HP等を活用し情報提供するとともに、県、JAなど農業関係機関と連携し、新規就農希望者の情報共有や就農相談の実施を行う。 新規就農者向け補助金による支援制度の活用
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	新規就農者の育成確保を図り、地域農業の持続可能な力強い農業構造を構築する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	新規就農者向け補助金による支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談 就農希望者への農地情報の提供	新規就農者向け補助金による支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談 就農希望者への農地情報の提供	新規就農者向け補助金による支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談 就農希望者への農地情報の提供

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 新規就農者数	人(年)	16.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	② 育成セミナー・農業大学校受講者数	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	③						
活動指標	① 制度の周知の実施回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	2,830	2,020	2,020	2,020	6,060
一般財源	580	520	520	520	1,560
特定財源	2,250	1,500	1,500	1,500	4,500

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	県営経営体育成基盤整備事業（浮戸川上流Ⅲ期地区）	NO.	128
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	1 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	本地区は水田区画が小さいことや泥炭層による軟弱地盤であり、大型の農業機械を使用することができず効率の悪い農業を行っている。また地区内を縦断する大排水路は老朽化が進み、崩落の危険性もあるため本事業による再整備を行う。
対象 (誰・何を対象として)	ほ場整備対象区域は、大曾根・勝の広域農道南北の水田地帯おおよそ54ha（受益農地面積）、受益者数146人
手段 (どのようなやり方で)	県営事業により、ほ場の区画形質の改善及び乾田化、農道整備、用排水整備等生産性の高いほ場整備を行うとともに、併せて担い手の育成や農地の集積を促進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上を図る。 用水の安定供給確保。 暗渠及び専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	県営工事負担金（換地業務、事業完了）		

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 利用集積面積	ha	28.7	28.7			
	②						
	③						
活動指標	① 市負担金交付率	%	0.0	100.0			
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	3,132	3,132	0	0	3,132
一般財源	3,132	3,132	0	0	3,132
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	県営経営体育成基盤整備事業（武田川下流地区）	NO.	129
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	1 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	本地区は水田区画が小さいことや湿田であることから、大型の農業機械を使用することができず効率の悪い農業を行っている。また農道の幅員も狭いことや用水路も未整備なために耕作者から、ほ場整備を実施したいとの強い要望があったため事業の導入を進めている。
対象 (誰・何を対象として)	ほ場整備対象区域は、小櫃川、武田川、千葉鴨川バイパスに囲まれた、袖ヶ浦市、木更津市に跨る区域106.4ha（うち袖ヶ浦受益約70ha）、受益者数149人
手段 (どのようなやり方で)	県営事業により、ほ場の区画形質の改善及び乾田化、農道整備、用排水整備等生産性の高いほ場整備を行うとともに、併せて担い手の育成や農地の集積を促進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上を図る。 用水の安定供給確保。 暗渠及び専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化。 農道の拡幅による農業生産活動の安定及び効率化。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	県営工事負担金（区画整理11.7ha、暗渠排水工67.4ha）	県営工事負担金（換地業務）	県営工事負担金（換地業務、事業完了）

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 利用集積面積	ha	32.0	38.7	45.4	52.1	52.1
	②						
	③						
活動指標	① 市負担金交付率	%		62.0	91.0	100.0	100.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	26,250	22,050	10,185	3,150	35,385
一般財源	4,050	3,308	1,528	3,150	7,985
特定財源	22,200	18,743	8,657	0	27,400

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	土地改良推進事業	NO.	130
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	1 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化やパイプライン化・ICT化等の整備を行い、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、高収益作物の導入、水利用の効率化・水管理の省力化等を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うため、地元説明会を開くなど、農業者の合意形成に向けた啓発に努めるほか、地元が行う計画調査に対して補助金を交付する。
対象 (誰・何を対象として)	狭小・不整形、排水不良等の農地
手段 (どのようなやり方で)	ほ場の区画形質の改善及び乾田化、農道整備、用排水整備等生産性の高いほ場整備を行うとともに、併せて担い手の育成や農地の集積を促進し、農業経営の合理化を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上を図る。 用水の安定供給確保。 暗渠及び専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化。 農道の拡幅による農業生産活動の安定及び効率化。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	大鳥居地区 ・施設設計、事業計画概要書作成、促進計画作成 新規地区説明会等	大鳥居地区 ・事業計画概要書作成 新規地区説明会等	大鳥居地区 ・事業計画書作成 新規地区説明会等

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 事業着手地区数	地区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	②						
	③						
活動指標	① 新規地区説明会等	回	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	5,864	12,586	3,782	1,282	17,650
一般財源	5,864	12,586	3,782	1,282	17,650
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	農地農村環境保全事業	NO.	131
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	2 農地環境対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等様々な機能の維持・発揮を図るため、地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進する。
対象 (誰・何を対象として)	地域一体となって活動を行う活動組織 その区域内における農業者
手段 (どのようなやり方で)	農業基盤である農地や農道及び農業用排水路などの資源を地域住民や関係団体が一体となり保全していく組織を立ち上げ、その活動を支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農用地周辺の保全活動に加え、農業用施設の決め細やかな手入れや農村の自然や景観を守る共同活動が促進され、地域でのまとまりが強固となります。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営 未着手地区に対する啓発活動	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営 未着手地区に対する啓発活動	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営 未着手地区に対する啓発活動

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 農道舗装延長	k m	0.2	0.9	1.4	1.9	1.9
	② 排水路整備延長	k m	0.2	0.4	0.8	1.2	1.2
	③						
活動指標	① 多面的機能支払事業活動面積	ha	949.5	1,000.0	1,025.0	1,050.0	1,050.0
	② 広報等での啓発	回	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	61,333	80,570	71,729	80,948	233,247
一般財源	15,651	20,050	17,839	20,144	58,033
特定財源	45,682	60,520	53,890	60,804	175,214

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	NO.	132
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	2 農地環境対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	国等補助事業を活用し、イノシシ・アライグマ等の有害鳥獣の駆除を実施するほか、防護柵等を設置し、農作物被害の防止及び抑制を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	有害鳥獣に係る農作物被害の防止及び抑制する。
対象 (誰・何を対象として)	農業者（農畜産物生産者）
手段 (どのようなやり方で)	木更津猟友会袖ヶ浦駆除隊等による有害鳥獣の駆除 防護柵等の設置による農作物被害の防止
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農産物被害の防止及び抑制を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助 有害鳥獣に関する講習会	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助 有害鳥獣に関する講習会	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助 有害鳥獣に関する講習会

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 有害鳥獣防護柵設置距離数	m	7,910m	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	19,132	23,899	23,899	23,899	71,697
一般財源	10,454	10,612	10,612	10,612	31,836
特定財源	8,678	13,287	13,287	13,287	39,861

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	農畜産物の魅力向上事業	NO.	133
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	3 高付加価値農業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農産物の高品質化と消費者の安全・安心へのニーズに対応できるよう、環境にやさしい農産物の普及拡大を推進します。 また、自ら加工・販売を行う6次産業化に取り組む農業者へ、補助事業等を活用した支援を行うとともに、商業者と連携した市内産農産物の活用や販路拡大を促進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農業所得向上と安定を目指し、生産意欲の向上と袖ヶ浦産品の普及を図る。
対象 (誰・何を対象として)	農業者、飲食業者、消費者
手段 (どのようなやり方)	環境にやさしいエコ農産物の普及拡大を推進するとともに農業者が自ら加工・販売まで行う6次産業化の取り組みや市内農産物を活用した農家レストランへの取り組みを支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農産物等の高付加価値化や地産地消の促進により消費を拡大させることにより、農業経営の安定を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修・試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介・加工品の販売促進 既存レストラン等へ地元食材の活用を呼び掛け	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修・試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介・加工品の販売促進 既存レストラン等へ地元食材の活用を呼び掛け	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修・試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介・加工品の販売促進 既存レストラン等へ地元食材の活用を呼び掛け

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① ちばエコ農産物の認証数	件	53.0	57.0	61.0	65.0	65.0
	② 6次産業化取組支援	件	5.0	6.0	6.0	7.0	7.0
	③						
活動指標	① イベント等でのPR活動	回	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	② 農業者団体の会議等で事業の紹介	回	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	2,247	778	778	1,278	2,834
一般財源	2,247	778	778	1,278	2,834
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	体験農園支援事業	NO.	134
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	4 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	体験農園を開設する農業者に対し、利用者募集の支援や補助金の交付により開設支援を行い、体験農園の開設を推進し安定した農業経営を確立するとともに、市民等への農業体験機会の拡大を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	体験農園を開設する農業者や団体に対し支援を行い、体験農園の開設を推進し安定した農業経営を確立するとともに市民等へ農業体験機会の拡大を図る。
対象 (誰・何を対象として)	農業者及び団体 収穫体験、農業を希望する市民等
手段 (どのようなやり方で)	農業体験ができる農園整備やPRに必要な補助金を交付し、促進を図る。また、市民農園の紹介や野菜栽培講習会、栽培相談など、農業に関心の高い市民に向けたサポートを行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安定した農業経営の確立 観光農園と連携したグリーンツーリズムの推進

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設に興味を持つ農業者へのフォローアップ	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設に興味を持つ農業者へのフォローアップ	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設に興味を持つ農業者へのフォローアップ

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 収穫体験実施農園数	件	20.0	21.0	21.0	22.0	22.0
	②						
	③						
活動指標	① イベント等でのPR活動	回	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	540	540	560	60	1,160
一般財源	540	540	560	60	1,160
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	観光・直売型農業推進事業	NO.	135
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	4 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	生産者と消費者の交流を促進するとともに、農畜産物直売所「ゆりの里」を拠点とした食育活動と地産地消を促進します。また、農業の活性化を図るため、生産組織の育成を支援し、計画栽培、出荷による安定経営を支援します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	生産者と消費者の交流を促進するとともに、農畜産物直売所「ゆりの里」を拠点とした食育活動と地産地消を促進する。また、農業の活性化を図るため、生産組織の育成を支援し、計画栽培、出荷による安定経営を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	農業者・消費者（市民・観光客）
手段 (どのようなやり方で)	地産地消推進のため、市内生産の販売を増加し、合わせて、学校給食における市内農産物の積極活用。直売所に隣接地での収穫体験
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地産地消の拡大により農業所得の向上 収穫体験による観光と直売の連携

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① ゆりの里売上額	百万円	548.5	549.5	550.0	550.5	550.5
	② ゆりの里レジ通過者	千人	312.7	315.7	317.2	318.7	318.7
	③ ゆりの里売上額のうち市内出荷者の売上割合	%	52.5	53.1	53.4	53.7	53.7
活動指標	①						
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	2,963	611	811	911	2,333
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	2,963	611	811	911	2,333

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	田園空間施設維持管理事業	NO.	136
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	4 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	農村・農業の貴重な歴史・文化・伝統技術や農村景観などの農村資源を保全・復元するとともに、農業体験の場を提供するひらおかの里農村公園等田園空間施設の維持管理を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	農村・農業の貴重な歴史・文化・伝統技術や農村景観などの農村資源を保全・復元するとともに、農業体験の場を提供する農村公園等田園空間施設の維持管理を行う。
対象 (誰・何を対象として)	市民、市内小学生、市内保育所・幼稚園児、市外からの来園者及び散策路利用者
手段 (どのようなやり方で)	広報で募集した市民や市内小学生、市内保育所・幼稚園児、市外からの来園者らが農業体験を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	都市部住民の農業に対する意識の向上 農業体験機会の確保

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	田んぼの学校 収穫体験・宿泊体験 地元農産物直売等 ひらおかの里農村公園の更なる活用に向けた総合的な検討	田んぼの学校 収穫体験・宿泊体験 地元農産物直売 田園空間歴史散歩 ひらおかの里農村公園の更なる活用に向けた総合的な検討	田んぼの学校 収穫体験・宿泊体験 地元農産物直売 田園空間歴史散歩 ひらおかの里農村公園の更なる活用手法の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① ひらおかの里農村公園来園者数	千人	11.1	11.4	11.7	12.0	12.0
	②						
	③						
活動指標	① イベント開催回数	回	81.0	83.0	85.0	87.0	87.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	14,327	12,824	15,015	15,015	42,854
一般財源	13,791	12,288	14,479	14,479	41,246
特定財源	536	536	536	536	1,608

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	森林経営管理事業	NO.	137
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	1 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	5 林業の振興と森林管理の適正化	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	経営管理が行われていない森林について、市が森林所有者の委託を受け経営管理することや、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮
対象 (誰・何を対象として)	森林法第2条第3項に規定する民有林(約700ヘクタール)
手段 (どのようなやり方で)	森林所有者への意向調査の結果、経営や管理の委託の申出等があった森林については、経営や管理について委託を受け、経営管理権を取得した森林について、林業経営に適した森林は、経営や管理を林業経営者に再委託、林業経営者に再委託しない森林等は、市町村森林経営管理事業を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	事業計画策定、意向調査等	意向調査等、森林経営管理実施	意向調査等、森林経営管理実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 林業経営者への再委託	ha	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0
	② 市が行う森林整備	ha	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0
	③						
活動指標	① 意向調査の実施	ha	0.0	20.0	50.0	80.0	80.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	100	5,791	4,062	4,062	13,915
一般財源	100	6	6	6	18
特定財源	0	5,785	4,056	4,056	13,897

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	商店街魅力向上事業	NO.	138
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	2 商工業	会計区分	一般会計
	方向性	1 活力ある商業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	商店街の環境整備やイベント等の活動を支援することにより魅力向上を図るとともに、持続可能な商店街づくりを進めます。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	商店街の環境整備や顧客とのふれあいを目的としたイベントへの支援を行うことで、各個店の魅力向上に努める。
対象 (誰・何を対象として)	市内各商店街、各個店、市民、顧客
手段 (どのようなやり方で)	商店街運営経費負担軽減を図るため、商店街街路灯の維持管理費や市民との交流イベント等の取組みに対し、補助金交付による支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	商店街の魅力向上につながるるとともに、地元購買者が増加し、地域での交流が盛んとなり、賑やかな商店街となる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、まちゼミ事業） 商店街が行う市民交流活動への支援	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、まちゼミ事業） 商店街が行う市民交流活動への支援	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、まちゼミ事業） 商店街が行う市民交流活動への支援

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 商店会加盟店舗数	店	124 (H30)	124.0	124.0	124.0	124.0
	② 一店逸品・まちゼミ集客数（年間）	人	90 (H30)	90.0	92.0	94.0	94.0
	③ 一店逸品・まちゼミ参加店舗数（年間）	店	28 (H30)	28.0	29.0	30.0	30.0
活動指標	① イベント助成件数（年間）	回	4 (H30)	4.0	4.0	4.0	4.0
	② イベント実施・参加回数（年間）	回	4 (H30)	4.0	4.0	4.0	4.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	2,805	2,560	2,354	2,354	7,268
一般財源	2,805	2,560	2,354	2,354	7,268
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	企業等振興支援事業	NO.	139
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	2 商工業	会計区分	一般会計
	方向性	2 力強い工業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	企業経営の安定化と事業の高度化、産業の振興、雇用の場の確保を図るため、一定規模以上の設備投資に対して助成を行い、企業の新規立地や設備投資を促進します。 県及び近隣市と連携しながら規制緩和等の側面的支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市内に立地している企業の市外流出を防ぐため、設備投資や雇用に対する奨励制度や企業が要望する規制緩和等について検討を行うことで、立地企業の競争力強化に向けた支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	市内の立地企業、市内へ立地を検討している企業
手段 (どのようなやり方で)	県、近隣自治体及び立地企業と連携体制を構築し、京葉臨海コンビナートの競争力強化につながる規制緩和の対応策の検討を進めるとともに、設備投資を促進するため、企業の新規立地及び一定規模以上の設備投資に対し奨励金を交付する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	企業の設備投資を促進し、市税収入の安定化と雇用の場の確保を図るとともに、企業が操業しやすい環境を整えることで、激化する国際競争等に勝ち残れるよう競争力強化を高める。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	県及び近隣自治体と連携した側面的支援企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談	県及び近隣自治体と連携した側面的支援企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談	県及び近隣自治体と連携した側面的支援企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 企業振興条例指定件数(年間)	件	2.0	3.0	4.0	5.0	5.0
	② 椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励金交付累計件数	件	0.0	4.0	8.0	11.0	11.0
	③						
活動指標	① 県及び近隣市と連携した競争力強化検討会議の参加回数(年間)	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	104,452	176,184	122,554	143,400	442,138
一般財源	104,452	176,184	122,554	143,400	442,138
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	産業用地利活用推進事業	NO.	140
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	2 商工業	会計区分	一般会計
	方向性	2 力強い工業の推進	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	企業立地が順調に推移する中、その受け皿となる産業用地が不足していることから、企業が所有する未利用地等の利活用を推進するため、現況調査を行い今後の利活用について検討します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	新たな産業用地の確保のため、未利用地の現況について調査を行い、未利用地を事業用地として活用できるよう誘導を行う。
対象 (誰・何を対象として)	市内立地企業、本市へ進出を検討している企業
手段 (どのようなやり方で)	工業系用途地域における未利用地の現況調査を行い、土地所有企業を訪問し土地の利活用についてヒアリングを行う。また、未利用地を事業用地へ活用できるよう、新たな奨励制度について検討する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	税込及び雇用の場の確保と工業の活性化

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	産業用地利活用に関する調査 土地所有企業へのヒアリング 利活用可能用地のピックアップ 産業用地確保奨励制度の検討	土地所有企業へのヒアリング 利活用可能用地の紹介 進出希望企業との土地所有企業のマッチング 産業用地確保奨励制度の検討	土地所有企業へのヒアリング 利活用可能用地の紹介 進出希望企業との土地所有企業のマッチング 産業用地確保奨励制度の検討

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 進出希望企業と土地所有企業のマッチング成立数(累計)	件	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
	②						
	③						
活動指標	① 企業ヒアリング回数(年間)	回	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	② 利活用可能な土地の紹介回数(年間)	回	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	0	33	233	33	299
一般財源	0	33	233	33	299
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	中小企業支援事業	NO.	141
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
施策	2 商工業	会計区分	一般会計
方向性	3 中小企業の支援	新規事業	
総合計画		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	人材や資金面など経営資源が弱い中小企業について、融資や利子補給制度により、資金の支援を行うとともに、経営相談等に対応する相談体制を充実し、きめ細かな支援を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内に多く存在する中小企業について、経営基盤の確立を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内の中小企業
手段 (どのようなやり方)	中小企業に対する運転・設備等の資金に対し融資及び利子補給を行う。 経営等全般に係る相談窓口の開設や、巡回訪問により、経営者の声を直接聞ける場を設ける。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	中小企業の経営に関する資金的支援や課題解決に向けた支援を行うことで、中小企業の経営の安定化を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問・面談 中小企業向け相談窓口の開設検討	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問・面談 中小企業向け相談窓口の運用	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問・面談 中小企業向け相談窓口の運用

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 中小企業融資資金の設備資金貸付件数(年)	件	7 (H30)	8.0	9.0	10.0	10.0
	② 相談窓口利用件数	件	0 (R1)	-	50.0	75.0	75.0
	③						
活動指標	① 中小企業融資資金貸付件数(年間)	件	67 (H30)	70.0	72.0	74.0	74.0
	② 中小企業融資資金利子補給件数(年間)	件	382 (H30)	384.0	386.0	388.0	388.0
	③ 制度周知件数	回	1 (H30)	2.0	2.0	2.0	2.0

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度 合計
事業費	230,074	235,115	231,525	232,025	698,665
一般財源	30,074	35,115	31,525	32,025	98,665
特定財源	200,000	200,000	200,000	200,000	600,000

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	袖ヶ浦市観光協会活動支援事業	NO.	142
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	3 観光	会計区分	一般会計
	方向性	1 観光振興に向けた体制づくり	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市及び周辺地域の豊かな自然、文化等の観光資源を活用し、観光地としての魅力を高め、観光事業の健全な振興を図ることにより、地域経済の活性化、地域文化の維持発展に寄与することを目的に事業を展開する（一社）袖ヶ浦市観光協会（以下「観光協会」）の運営を支援します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	当市における観光事業の健全な振興の推進を図るため、観光協会の運営を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	(一社) 袖ヶ浦市観光協会
手段 (どのようなやり方で)	地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりの推進を図るため、観光協会に対し、補助金を交付し、運営を支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	観光協会に対し、財政的支援などを行うことにより、魅力あふれる地域づくりを推進するとともに、効果的な情報発信を行うことにより、観光振興を通じて地域の活性化、観光イメージの構築、交流人口の増加を図っていく。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	補助金の交付 運営支援 事業活動の周知	補助金の交付 運営支援 事業活動の周知	補助金の交付 運営支援 事業活動の周知

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 市及び観光協会との共同イベントの参加人数	人	18,000 (H30)	500.0	17,600.0	17,700.0	17,700.0
	②						
	③						
活動指標	① 市及び観光協会との共同イベントの実施	回数	1 (H30)	2.0	2.0	2.0	2.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度 合計
事業費	35,608	6,545	14,414	14,214	35,173
一般財源	35,608	6,545	12,414	12,214	31,173
特定財源	0	0	2,000	2,000	4,000

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域回遊促進事業	NO.	143
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	3 観光	会計区分	一般会計
	方向性	2 観光地としての魅力づくり	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	特産推奨品認定事業を会員等にPRし、多くの商品の特産推奨品として認定し、種類や品数の増加を図ります。主要拠点から観光施設までの移動手段を検討します。スタンプラリー事業を拡張します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市の特産推奨品の種類や品数を増やしていく。主要拠点から観光施設までの移動手段を検討し、観光客の利便性の向上を図る。また、多くの会員がスタンプラリーに参加することで、地域回遊を促進し、観光地としての魅力が向上する。
対象 (誰・何を対象として)	公共交通機関を利用した観光客 観光協会会員
手段 (どのようなやり方で)	市内の主要拠点から回遊するにあたり、公共交通機関以外の移動手段について検討する。スタンプラリー事業に多くの会員に参加してもらい、特産推奨品のPRや観光情報を発信してもらう。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内の主要拠点から観光施設までの利便性を向上することで、交流人口の増加に繋げる。また、特産推奨品の種類や品数を増やし、スタンプラリー事業者を増やすことで、地域の魅力を向上させ、地域経済等の活性化を図れる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	特産推奨品認定事業の実施 レンタサイクル等の回遊手段の導入調査 スタンプラリー提供事業者数の勧誘	特産推奨品認定事業のPR レンタサイクル等の回遊手段の試行 スタンプラリー提供事業者数の勧誘	特産推奨品認定事業のPR レンタサイクル等の回遊手段の実施 スタンプラリー提供事業者数の勧誘

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 特産推奨品認定数	品	6品 (H29)	7.0	7.0	7.0	7.0
	② スタンプラリー参加者数	人	769人 (H30)	780.0	790.0	800.0	800.0
	③						
活動指標	① スタンプラリー提供事業者数	会員	43会員 (H30)	43.0	44.0	45.0	45.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	681	979	1,794	1,194	3,967
一般財源	681	979	1,794	1,194	3,967
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域資源活用支援事業	NO.	144
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	3 観光	会計区分	一般会計
	方向性	2 観光地としての魅力づくり	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	大学、高等学校との連携により、若者の視点による本市の豊かな地域資源の新たな活用方法について検討を進めます。また、市の地域資源を活用した農工商連携に自主的に取り組む事業者等の増加を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	本市の優れた地域資源を活用し、市内の経済循環を強化することで、本市産業の活性化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内産業関係者、市民、市への来訪者
手段 (どのようなやり方で)	本市の農産物をはじめとした地域資源について新たな利活用を推進するため、大学や高等学校との連携により若者の視点により、活用方法の検討を進める。 市の地域資源を活用した商品やメニュー開発等に自主的に取り組む事業者に対して補助金の交付を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市が有する地域資源の活用により、地域資源の認知度の向上につながる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	事業者に対する情報収集 支援手法の検討 地域資源活用支援補助制度の策定 大学、高等学校との連携協議 ビジネスマッチング交流会の開催	地域資源活用支援補助制度の運用 事業者に対する情報提供 大学、高等学校との連携による地域資源活用事業 プロモーションイベント参加 ビジネスマッチング交流会の開催	地域資源活用支援補助制度の運用 事業者に対する情報提供 ビジネスマッチング交流会の開催 地域資源活用事例紹介パンフレット作成

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 地域資源を活用した商品開発数（年間）	件	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
	② 地域資源活用支援補助金交付件数（年間）	件	0.0	-	2.0	2.0	2.0
	③						
活動指標	① 相談件数（年間）	件	0.0	2.0	2.0	3.0	3.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	0	37	2,590	860	3,487
一般財源	0	37	2,590	860	3,487
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	観光情報発信事業	NO.	145
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	3 観光	会計区分	一般会計
	方向性	3 観光情報の発信・充実	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	観光協会を事業主体として、ホームページやSNSのほか、紙媒体を活用した観光ガイドマップなど、様々な方法により情報発信していく。 「FARM COURT 袖ヶ浦」を活用し、観光情報を含めた本市の魅力を市内外へ情報発信をしていく。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	ゆりまち袖ヶ浦駅前モールに開設した「FARM COURT 袖ヶ浦」を活用し、本市の観光や農畜産物などの魅力の情報発信を行う。 様々な媒体を活用して効果・効率的に情報発信をしていく。
対象 (誰・何を対象として)	国内外から来訪する観光客、市民、来訪者
手段 (どのようなやり方で)	交流拠点施設を活用した観光情報の発信 観光ガイドマップ(日本語・外国語版)の作成、観光協会ホームページ(スマホ向け対応)による情報発信 SNS(フェイスブック)による情報発信
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	観光入込客数やホームページ等の閲覧件数の増加により、本市の魅力を観光客や市民に知ってもらえる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	関係機関と連携した情報発信 「FARM COURT 袖ヶ浦」を活用した情報発信	関係機関と連携した情報発信 「FARM COURT 袖ヶ浦」を活用した情報発信	関係機関と連携した情報発信 「FARM COURT 袖ヶ浦」を活用した情報発信

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	①	交流拠点広場を活用したイベント回数	件	-	4.0	4.0	4.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	3,743	7,316	4,162	4,162	15,640
一般財源	3,743	7,316	4,162	4,162	15,640
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	雇用促進事業	NO.	146
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	5 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
施策	4 雇用・就業	会計区分	一般会計
方向性	1 雇用の促進	新規事業	
総合計画		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市内企業の雇用機会を確保するため、合同就職説明会や合同会社見学会を開催し、市内企業と就職希望者とのマッチングを図ります。 また、人手不足への対策として、外国人労働力の活用を検討していくため、市内企業に対し外国人労働者の受け入れ意向を確認するとともに、外国人の雇用に関するノウハウ等の情報提供を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内企業の雇用機会の確保を図る。
対象 (誰・何を対象として)	雇用計画のある市内企業・事業所 市内企業・事業所への求職者
手段 (どのようなやり方で)	市内企業の人材確保を図ることを目的として、合同会社説明会、会社見学会を開催するとともに、企業が自主的に行う就職面接会について、開催周知や会場確保等について支援を行う。さらに、外国人労働力の活用意向について、市内企業に対しアンケート調査を行うとともに、外国人の雇用に関する情報提供を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内企業の労働力確保

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	新卒者を対象とした合同会社説明会・見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 市内企業・事業所に対し外国人受入れ意向調査 在留資格制度等の情報提供	新卒者を対象とした合同会社説明会・見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 在留資格制度等の情報提供	新卒者を対象とした合同会社説明会・見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 在留資格制度等の情報提供

【評価指標】

名称		単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 就労マッチングへの参加人数	人	97.0	100.0	105.0	110.0	110.0
	②						
	③						
活動指標	① 就労マッチング実施回数	回	7.0	7.0	8.0	9.0	9.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	0	113	113	113	339
一般財源	0	113	113	113	339
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	就労支援事業	NO.	147
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 産業	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	4. 雇用・就業	会計区分	一般会計
	方向性	2 就業機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	ハローワーク、ジョブカフェちば、千葉県ジョブサポートセンター等と連携して、求職者の就職に向けたセミナーを開催し、多様な世代の方が希望する形で就労できるよう支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	雇用関連情報の発信を行うとともに、求職者のスキルアップを図ることで、就業機会の拡充を図る。
対象 (誰・何を対象として)	就職希望者
手段 (どのようなやり方)	ハローワークやジョブカフェ、ジョブサポ等の関係機関と連携しながら、女性や各世代に応じた職業相談、職業紹介などの情報提供やセミナー開催による就業支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民（未就業者等）の就労の場を確保する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー・女性向け就労支援セミナー・シニア向け再就職セミナー・ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供(市政情報室、図書館)	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー・女性向け就労支援セミナー・シニア向け再就職セミナー・ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供(市政情報室、図書館)	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー・女性向け就労支援セミナー・シニア向け再就職セミナー・ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供(市政情報室、図書館)

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 就労支援セミナー・相談会参加者数	人	17.0	18.0	19.0	20.0	20.0
	②						
	③						
活動指標	① 就労支援セミナー等の開催数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2~R4年度合計
事業費	895	605	605	605	1,815
一般財源	895	605	605	605	1,815
特定財源	0	0	0	0	0